



北海道の食と農業

令和7年12月11日
北空知圏学校給食センター



私たちがふだん食べている食べ物には地域の農業や産業が深く関わっています。今日の給食の「しらたまあんこ」に使われている砂糖は、北海道で育てられています。「てん菜(ビート)」という作物から作られています。てん菜からできる砂糖は、日本の国産砂糖の約8割を占めており、北海道の大切な農作物のひとつです。

ホクレン農業協同組合連合会では、食育の一環として、北海道産の材料を使ったつぶあんを各学校に無償で届ける取り組みを行っています。今回、そのつぶあんを活用し、給食で「しらたまあんこ」を提供することになりました。

この「しらたまあんこ」を通して、北海道の食と農業にふれ、感謝の気持ちで味わいましょう。

しらたまあんこは
よくかんで食べましょう。

